洲本市域学連携事業10周年記念シンポジウム

洲本市の関係人口増加のための
菜の花エコプロジェクトの“持続可能化”と“体験型教材創出”

コニカミノルタ株式会社　楠（洲本市出身）/本谷（ヨソモノ）

目的：菜の花エコプロジェクトを活用し、洲本市の関係人口を増加させる

令和4年度活動：菜種油を活用した魅力商材を開発に着手（武庫川女子大・洲本農園）

菜の花について知る・体験する

大野小学校環境学習を見学（菜の花の刈り取りやウェルネスパーク五色内の搾油所）

菜の花迷路作製作業に参加（迷路にシートを敷設し、竹トンネルを作製）

大野地域なのはな部会、コニカミノルタと連携活動についての意見交換

なたね油を使ったパスタソースの開発

パスタソース開発には洲本農園さんが担当

パッケージ開発は武庫川女子大が担当
菜の花迷路イベントでパッケージの人気投票にて、マーケティング調査実施

洲本市 Sumoto City　KONICA MINOLTA　洲本農園　武庫川女子大学

問題：今ある活動の運営に手いっぱいで関係者が疲弊している → 関係人口が増えるどころか減っている

問題①：関係者が増えていない

大野菜の花部会、洲本市職員の奮闘に支えられており、大学生の連携も継続的になっていない。

問題②：エコサイクルが知られていない

菜の花栽培地域の住民にも良質なオイルであることすら知られていない。

対策：探究学習の場として設計し、様々な関係者の目的を育む場にする

工夫①：ビジネス創出の場

地域のエコプロジェクトへの参画による**商材のタネ、PoCの場を獲得**

工夫②：マイルドに地方創生に貢献

自分が先頭に立つのではなく、集団として進み、地方創生に貢献

➡探求学習プログラム創出！　関係者の増加！

工夫③：探究学習の教材

探究学習の課題は、**「時間の確保・適切なプログラムが用意できない」「地域との協力連携は無い」**

➡子供を通した情報伝達

	ニーズ	得られるもの
ビジネスマン（市内外）	使いたい	商材・PoC/EGS実績
市職員・部会	盛り上げたい	活動資金・関係人口
教育者	使いたい	探究学習
学生	手伝いたい、体験したい	↑
県外の人（元住民）	何とかしたい	Well-being・ビジネスのタネ
地域おこし協力隊	盛り上げたい	↑

地域にあるエコプロジェクトがきちんと伝われば、“ニーズ”と紐づく可能性が高いため、勝手に関係人口が増加する
➡Well-beingサイクルの創出が出来そう

令和5年度活動：探究学習の教材としてキャンドル作成イベントをやってみた

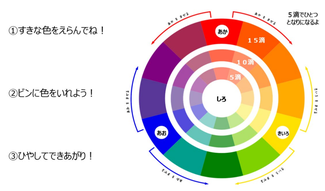
廃油キャンドルによる色の混ぜ合わせ体験会（’23/10/28 淡路島祭り）

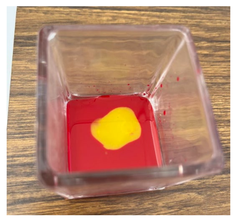
参加費用：100円
参加者：48名 ➡

廃油

凝固剤

トナー入り廃油





KONICA MINOLTA

トナーのアップサイクルの場所を獲得
➡探究学習キット商材開発の可能性あり

まとめ：探究学習の教材化は、“関係人口・Well-being創出”に相性が良い

菜の花エコサイクル参画者募集中